

事業所名

ハミング ことばとからだところの教室

支援プログラム(重心 放課後等デイサービス)

作成日

令和7年

4月

1日

法人(事業所)理念		「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」を基本とし、障がいのある人々が、働くことを通じて自己の存在感と生きがいを見だし、また人とふれあい関わり合うことによって基本的な生活習慣を身につけ、将来は「どんな障がいのある人も、地域の中で生活する」ということを目標に、一人ひとりに合わせた支援を行うことを目的とします。法人の事業所は、将来の目標に向けて地域の中にたくさんの理解者を作るため、本人や家族・職員・ボランティアの人たちと、共に学び、共に育ち、お互いの理解を深め、明るい未来を築き上げる拠点として設置します。						
支援方針		放課後等デイサービスでは、障害児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう支援を行っていきます。利用児に対してその人格を尊重し、常に利用児の立場に立った福祉サービスの提供に努めます。 また、関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図った適正且つきめの細かい支援を行います。						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家族からの申し送りやバイタルチェック、様子を元にその日の過ごし方を見極め支援をしていきます。 ・疲労が強いような時は、リラックスできる環境やプログラムに内容を変更をしていきます。 ・身体の変形・拘縮予防に努め、ポジショニングやマッサージに取り組んでいきます。 ・希望があれば、入浴支援も行います。入浴を行うことで、心身のリラクゼーション効果や清潔の維持、筋緊張を軽減していきます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊び、感覚遊びをもとに、発達をサポートできるような遊びの提供や道具を工夫しながら、日常生活動作につなげられるような支援の提供を行っていきます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に合わせ、日常生活の中で不可欠な食事や挨拶など理解や認識が図れるように支援をしていきます。 ・朝の会や帰りの会、活動などをルーティン化することで見通しが持てるように支援をしていきます。 ・物事に取り組む前に視覚化を繰り返す行うことで、物事の興味、関心を持てるように支援していきます。 						
	言語 コミュニケーション	(コミュニケーションの土台)人とのやり取りや遊びを通して、楽しい気持ちや達成感を共有して、人への意識を高めていきます。手や足への刺激、ふれあい遊び、首や顔面のマッサージを通して、外からの刺激にも慣れていきます。(言語)好きな遊びや興味の幅を広げ、状況判断する力や語彙を広げていきます。ひとりひとりのコミュニケーション方法に合わせ、身振りや発声・発語、写真や文字を使った発信する力を広げていきます。						
	人間関係 社会性	「動くことを学ぶ」とともに、「動きを通して学ぶ」ことを目的として、個々の子どもたちの力を育てる個別の指導だけでなく、音楽活動や小集団での活動を通して、自己意識、他者意識、社会性やコミュニケーション力を育てていきます。						
家族支援		日常生活や学校との情報共有を図ります。		移行支援		社会人に向けて移行期に関係機関と連携をします。		
地域支援・地域連携		外出や他事業所との交流を通じ、地域と関わりを持つ機会を作ります。		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止に関する研修 ・感染症に関する研修および訓練 ・安全管理に関する研修(事故防止、応急手当、防犯等) ・発達に関する研修(外部研修・内部研修) 		
主な行事等		誕生会、クリスマス会、夏祭り、外出、季節の制作、調理活動						